

第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 議事録

日時 令和6年1月29日(月)14:00~16:00

場所 堀川地区センター2階ホール



1. 会員名簿

(順不同、敬称略)

所属・役職	氏名	備考
堀川自治振興会 会長	村家 博	
堀川南自治振興会 副会長	大山 淳子	
富山地方鉄道株式会社 企画部副部長兼企画交通政策課長	吉川 護	
(公財)富山県宅地建物取引業協会 富山支部長	布目 大	代理:矢郷副支部長
(公財)全日本不動産協会 富山県本部 専務理事	高寄 誉史	
南富山まちづくりを考える会 会長	松山 朋朗	
南富山商盛会 会長	小畑 信之	
富山市立堀川中学校 校長	大久保 秀俊	
富山県立富山高等学校 校長	佐野 友昭	
富山県立富山いずみ高等学校 校長	越後 喜紀	代理:井川教頭
東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授	真野 洋介	

2. 次第

- 1 開会あいさつ
- 2 関係者協議会資料に関する意見交換について
別紙3 第2回関係者協議会資料
 - (1)第1回協議会の振り返り
 - (2)現状分析の追加検証
 - (3)これまでの活動から得られた市民意見
～意見交換～
 - (4)将来ビジョン骨子
 - (5)今後のスケジュール
～意見交換～
- 3 「南富山まちづくりを考える会」活動報告

3. 議事

1. 開会あいさつ

○事務局

ただいまより、第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会を開会いたします。

本日は11名の議員の方にご出席いただいております。なお、公益財団法人富山県宅地建物取引業協会からは布部支部長の代理として矢郷副支部長に、富山県立富山いずみ高等学校からは越後校長の代理として、井川教頭にご出席いただいております。

また、本日、堀川南自治振興会副会長 大山様におかれましては、所用により途中退席されます。ご意見につきましては、後日、いただければと存じ上げます。

それでは、次第に沿って会議を進めてまいります。最初に事務局より、「第1回協議会の振り返り」「現状分析の追加検証」「これまでの活動から得られた市民意見」について資料の10ページまで説明をした後に、一度、意見交換に移らせていただきます。その後、「将来ビジョン骨子」と「今後のスケジュール」について、事務局より説明後、再度、意見交換とさせていただきます、閉会したいと考えております。

なお、意見交換の場では、前回同様、委員の皆様との対話を円滑に進めるための支援役として、東京工業大学の真野准教授にファシリテーターをお願いいたします。

それでは、事務局より資料の説明をいたします。

2 関係者協議会資料に関する意見交換について

○事務局

※資料P10(3) これまでの活動から得られた市民意見まで説明

資料の10ページまで説明いたしました。ここで一度皆様と意見交換を行いたいと思います。それでは、真野先生、進行のほどよろしく願いいたします。

○真野委員

これまでに、学校や地域、商業施設等でどんな意見が出たかということ、すっきりと整理していただきましたが、今日は一般市民、地域住民の意見だけでなく、事業者や商店街、宅建事業、民

間事業者、自治会の代表者の方も来られており、実感に合ってるか、これは足りないのではないかと
といった視点があればお願いします。

○村家委員

本当に課題が多くて、絞り込んでいかないとだめだと思います。

○真野委員

この中で、駅舎から進めるのか、広場、道路、周りの土地から進めるのかといった検討は今後でき
ると思いますが、全体の枠組みの中でこの視点は少し抜けているのではないかとというようなところ
があれば言っていただきたいと思います。今は、まんべんなく皆さんから出た意見を枠組みに落
とし込んでいる形にはなってると思います。

○村家委員

現状、地域住民や近隣に住んでる方からよく聞くのは一方通行のこと。結局は、車が流れないこ
とが私の耳には一番入ってきます。南富山駅から北へ向かってくる道路、特に朝は車全く動かない
ということが、苦情と言いますか、問題と言いますか一番よく聞きます。南富山の駅の方へ一方通
行で入っていきます。商店街との関係もあり、まちづくりとして考えないといけません。

○真野委員

対話会の中でも車をどうさばるか、今は一方通行だがルール違反をする車が結構いるといった話
がありました。ルールであれば取り締まればよいが、今おっしゃったように、違うルートや車が溜
まらない、さばきやすい形にするには、ある程度の整理なり、道の付け替えも見据えた組み替えを
していく必要があると思います。

では、高校の印象として、富山高校からどうでしょうか。

○佐野委員

天候等で学校の始業開始を遅らせるような判断基準は、路面電車の運行状況で判断することにな
っています。前回もお話があったように、学校とすれば生徒の通学時における安全安心の確保が大
きいと思っています。当然、生徒の交通マナーについて住民の方からお電話をいただくこともあり、
その都度迅速に注意喚起を促していますが、物理的に危険があるような状況は改善していただき
たいと思います。

○真野委員

学校の中ではいろいろ充実してると思いますが、帰りや学校を出たところで街との接点がないと
いったことがシール投票で書かれています。そういった実感や学校以外にこんな場所あったらよい
なといったものはあるのでしょうか。

○佐野委員

本校の場合は、学習塾を使われている生徒はいます。学校施設内では、土日自習のため開放を

しています。高岡駅だと地下道で勉強しているということも聞いており、安全安心の確保として校内でそういった場を提供しています。

○真野委員

いずみ高校ではニーズはありますか。

○越後委員(代理 井川様)

本校の場合は、県内に一つしかない看護科があり、その生徒は全県から通って来ています。あの風から市電を使ってくる生徒も多くいますし、近隣だと自転車に乗ってくる生徒もいます。

自習室でいうと、自分の家までの間、例えば、富山駅の二階に座るところがあり、JRから苦情の電話も掛かってくることもあります。そこで長時間勉強しているという話も聞きます。そういう場所が自分の家と学校の道中にあれば、この生徒は使うのかなと思ったりします。

立山町の方から南富山駅を使って本校に来る、南富山駅があるからこそ、富山高校や本校、市内のまちなかの高校に出れるという話も聞くため、うちのエリアだけではなく、周りの地域の生徒も南富山駅を使うことがあれば、家と学校との道中になるため、生徒にとっては有難いと思います。

○真野委員

部活は、学校の中で済んでしまうのですか。学校以外の場所を使う部活はありますか。

○越後委員(代理 井川様)

練習試合に行く場合や大会がある場合は公共交通機関を使うと思いますが、平日の部活動に関しては校内で終わることが多いです。

○真野委員

中学校はいかがでしょうか。

○大久保委員

僕は、朝の7時過ぎに南富山駅で電車に乗って来ますが、学生の割合は非常に多いです。いずみ高校や富山高校だけではなく、南北接続になったことで、北部高校、富商、富山工業の生徒が南富山駅で乗り換えます。朝のラッシュ時に学生が使う比率は高いと思っています。

中学校は学校に自習スペースがありません。この南富山地区には学習塾が多数あり、学校が放課になるのが、部活動に入っていない生徒は4時、部活動がある生徒は5時過ぎで、塾の開始が6時、6時半だとすると、その合間にどこかスペースがあればよいと思います。

例えば、堀川中学校と同等の速星中学校という大規模校がありますが、ここは婦中ふれあい館の中に学習スペースがあります。富山駅周辺の芝園中学校の周辺には、無料の学習スペースがビルの中に設置されています。南富山は有料の学習スペースが駅の近くにあり、そこを覗くと結構使っています。特に高校生だと思いますが、このスペースを使っていることもあり、できれば南富山駅の周辺や、堀川中学校といずみ高校、富山高校の間にそのようなスペースがあると、学生にとっては便利だと感じています。

○真野委員

商店街の方はいかがですか。

○小畑委員

アーケードが狭いことはどうにもならないです。壊して新しいものを建てるしかない状況です。お店もお客さんが全く来るような感じではないです。そのような現状でどのように良くするかと言っても始まらないと思います。道路が狭いということもすべて、ああしたらいい、こうしたらいいと言っても結局お金が必要で、すべて一度にはできないにしても、計画を立ててその区域から変えていかなければなにも出来ないと思います。

○真野委員

これから駅舎や駅周辺が何か動き出したときに、商盛会としてはそこに広げていきたい、商盛会に入ってもらいたいといった意欲はありますか。

○小畑委員

そのようになっていくとよいと思います。ただ、そういったお店が入って来れるような場所にしていけないといけないと思います。今のままでは店舗も来ません。通り過ぎてしまうだけの場所になっています。

○真野委員

さきほどの有料学習スペースは、商店街と呼ばれるところとは別のビルに入っているのですか。中高生が使いたい場所としては、学習塾や自習スペースもあるが、ご飯食べたり、文房具などを買ったたりするお店はあるのですか。

○大久保委員

有料学習スペースは、商店街とは別の場所です。

文房具は、少し南へ行くと大手の文房具店が一軒あるため、そこで買っている子どもが多いです。思い出の地でいうと、僕もこの辺りに住んでいましたが、富山高校の近くに「あじのみせ」というラーメン屋がラーメンやかき氷を売っていたり、いずみ高校の向かいにお好み焼き屋がありました。意外とそういうものが流行ったりするのかもしれませんが、今の中学生や高校生は送り迎えが多くて、駐車スペースは南富山駅付近にはありません。スーパー跡地は広いですが、あそこは車を止めてはいけませんよね。

○松山委員

その敷地は私有地です。

先ほどの学習室は、高校生がよく利用していると聞いています。

今回の資料は目的・目標・手段がきちんとまとめられていると思っています。あとは、実際にここで商売をしている人の声が入っていないことが気になります。

昔は、今の育英センターの場所が文具屋であったり、アーケードには本屋さんがあったりと、子供たちが時間潰す場所がいくらでもあったが、今はなくなっています。今あるお店というのは、別にそこでなくてもできる商売の方だと思います。

○真野委員

続いて、不動産関係の方にお伺いしたいと思います。今、商店や事業をやっている人と、店舗や物件を探したい人といった両方の話しがあると思います。仲介する側として、ここで出店したいが手頃な物件がない、駐車場が取りにくいからお店を出せないといった話しはあるでしょうか。

○高嵯委員

私もこの地元でご商売をしてる方の視点が少し弱いと思います。おそらく、駐車場がないということは、皆さんが思われている事だと思っていますが、現に今地元でやっておられる方の声も聞いてみたいと思います。

○真野委員

それはアーケードだけではなく、広い道沿いやもう少し広い範囲の商売をしている方でしょうか。

○高嵯委員

特に興味があるのは、近隣の店舗です。

○真野委員

近隣の狭い範囲の南富山駅周辺の店舗に聞いてみるということですね。

○布目委員(代理 矢郷様)

うちの事務所も大町にあり、便利なところだと思っています。うちがここにあるのに、この辺りで店舗をやりたいという方が来た事はほとんどありません。富山駅前や西町、41号線で探している方は来ますが、南富山駅周辺でお店やりたいから探してほしいといった要望がなく、すごく残念だなと思います。

○真野委員

呉羽駅や東富山駅などの、同種の駅では違う傾向でしょうか。

○布目委員(代理 矢郷様)

呉羽駅だと少し違うとは思いますが、私は、事務所がある周辺しか分かりませんが、南富山はもう少し人気が出てほしいと思っています。需要が少ないのはブランド的に弱いのではないかと考えています。そこは少し目立つのものを作って、そこに人を呼ぶことも必要だと思っています。そういうブランドを作ると、そこに住みたいという人が出てくると思います。例えば、今富山で一番人気のある住みたい地域でいうと芝園校下ですが、あの辺りはどんどん値段が上がっていて、一坪当たり45万円でも買う方がいらっやいます。大泉一区南部の団地ではよいところでも一坪当たり2

0万円で、半分ぐらいの値段になっています。道路が狭いところだと15万円、12万円というところもあります。そのため、まちづくりをするのであれば、住みたいという方も一緒につくれるようなまちづくりをしていかないと、片手落ちになるのではないかと思います。

○真野委員

芝園エリアは、出店意欲も高いのですか。

○布目委員(代理 矢郷様)

住宅の部分での比較です。文教地区で人気の住みたいところは、芝園や奥田校下の下新や富岩運河周辺の二大エリアです。南富山はすごく便利なところにも関わらず、その人気に負けてしまっているため、なんとかしていただければと思います。

○真野委員

では、吉川委員をお願いします。

○吉川委員

この資料を拝見して、公共交通に対して利便性が非常に高いというご意見をたくさんいただき、私どもとしても非常にありがたいと思っております。前回もお話ししたとおり、この南富山駅周辺の最も重要なキーワードになるといった印象を受けました。そういった思いでいる一方で、駅前広場や駅舎については、身の引き締まるご意見だと思っております。

公共交通が良い反面、道が狭い、駐車場が少ないといった、地域独特の課題もあり、この南富山駅で学生たちにどう過ごしていただくかという時には、学校や保護者からみても、安心して過ごせるまちづくりがキーワードとして必要になると思っております。

公共交通を使っている駅員等もおりますし、防犯や交通の部分で、安心して過ごせる場所作りとはどういったものなのかということは、この後に話が進んでいくものと思っております、楽しみにしております。

○真野委員

そういった面は、このシール投票や意見でかなり見えていると思います。地域住民との対話会では、車に乗って行けるスーパーなどは多くあるが、自分が車に乗れなくなった時のことを考えると途端に買い物環境が不安で、近隣でそのようなことに困っている、難儀してる方がいるという話がありました。ある程度充実した商業環境は近隣にあるが、小さくてもいいから歩いて行けるような場所があるといいねといった話がありました。高齢者がある程度住んでいる環境であり、そういったニーズもあるのではないのでしょうか。スーパーに取って変わってきたことがあったのだと思いますが、駅と駅の周りの可能性としてはあるのかもしれませんが、中高生がたくさん居て、これからもそういう人がいる場所を作ることは大きな方向性としてありますが、やはり高齢者で、自分の家に元気に住んでいる人たちからも、歩きやすくしてほしいといった意見が出ていることはご紹介しておきます。

○村家委員

昔は駅の近くにスーパーがありました。売り場面積が150坪で、高齢者が歩いて来れる距離にスーパーがありました。その頃はものすごく南富山も賑わっていて、商店街にしてもずいぶん流行っていたと思います。しかし、事業者さんが撤退されると地域が衰退してしまった。近隣にスーパーができて、車なら5分で行けますし、自転車でも10分、15分で行けるため、事業者としては少し難しいのではないかという気がします。

○真野委員

それでは、資料の11ページ以降について、事務局からご説明をお願いします。

○事務局

※資料P11～将来ビジョン骨子について説明

○真野委員

資料10ページまでのご意見を踏まえて、今のような構成・組み立てで、将来ビジョンの骨子をまとめようとしています。先程のように、商売人の声ももう少し聞いた方がよいのではないかといった内容に関することはこれからになりますが、この構成について、どなたでも結構ですのご意見ををお願いします。

○松山委員

第5章ビジョンの実現に向けてだが、10年先を見据えていつ何をする、何をしていくのかを言及するのでしょうか。

○事務局

今回はビジョンを作るところで、具体的な取り組みをどうしていくかといったことはまだ見えていません。10年間でどういったことをしていきたいかが分かるような、イメージのようなものは記載したいと思っておりますが、具体的なところはまだ難しいと思っております。私たちもまだ具体的にイメージできてないところもありますので、10年でどんなステップで、どんなイメージにしていくかというレベルでは書きたいと思っております。

○松山委員

来年度に何をするかということは、どこかで言うべきではないでしょうか。ビジョン作成が目的にならないようにしていただきたい。

○事務局

このビジョンを作った後に、その後どうするかといった話は当然あると思います。そこについては課内で検討をしており、お伝えできることはしていきたいと思っております。来年度以降、具体的にどうするかということも含めて、次の回で示せることは示したいと思っております。

○真野委員

おそらく松山委員はいろいろな社会実験などをやっておられて、そういったことも実現に向けたところに書き込んだ方がよいのではないかとといったご意見ではないでしょうか。本格的な事業なり、決まったことだけ入れるのではなく、今やれることで、先ほどの朝の混雑のことや中高生の居場所が少ないこと、出店者がエントリーしてこないことなど、いろいろな課題があって、それに向けてこれから少しやれることを、2、3年のうちに実験してみたらどうですかということも含めて実現性ということでしょうか。

○松山委員

具体性が欲しいと思います。

○真野委員

暫定や実験と言っても、交通面もあれば土地利用の面もあり、空いている土地や建物、公園などの公共的な場所と言ってもいろいろあるとは思いますが。例えば、宅建事業者と行政がコラボするとこんなことできる、学校と行政がコラボすればできる、地铁と市がコラボすればできるなど、それぞれを結んで何かをやってみるみたいなことがあれば、ここがもう少し充実してくるのではないのでしょうか。あと一ヶ月半ほどではありますが、そういったことを少しでも後半に入れられたらよいと私も思っています。いずみ高校とはいろいろな学習をしてきましたが、学校としては今後、こんなこともやってみたいといったものがありますでしょうか。

○越後委員(代理 井川様)

今年度から2年生の総合的な探究の時間で関わらせていただいて、やはり1年ですぐできるものではないので、毎年色々な生徒たちの柔軟な考えを取り入れて、自分たちが3年間お世話になっているこの地域が、どうやったら良くなるかを主体的に学んで、探求して、それが2年後3年後、10年後に繋げていけたらと思っております。小さな一歩ですが、よろしくお願いします。

○真野委員

去年は交通チームやパンを開発するチームがありましたが、その学年に合わせてテーマを再設定されるのですか。

○越後委員(代理 井川様)

市役所で市長にプレゼンをした生徒たちと話していると、こういうことが将来になったら面白いねと言っていました。自分のやってることがすぐにはできないかもしれないが、将来的につながっていくのかもしれないという夢を見させていただいて、それが実現に向けた一歩になっていけばよいと思います。大学の卒業研究でも先輩から受け継いだ課題を継続してやっていくように、たくさんさんのチームではなくても、少しずつでも続けて行ければと思っております。生徒たちが地域について学ぶ場を提供していただいているのは大変ありがたいと思っております。

○真野委員

富山高校や堀川中学校でも、うちの学校はこれを地域とやってみたいというのがあれば言うていただいて、それが10年後にすごい形で実るかはとにかく、ここからやってみたいというようなことは、初動期や切り口として、それこそ思い出作りにもなるかもしれませんし、ある場所の利用につながるかもしれない。各学校で、是非次回までに考えておいていただければと思います。

不動産は、店舗の出店なり、地域の商業環境をもう少し見直したいというところが大きなテーマでしょうか。接道条件を良くして、宅地の価値を上げたいということはあると思いますが。

○高嵯委員

南富山というと、鉄軌道が走るところと車が来るところがぶつかり合っている、共存していないような感じがあります。道の問題は、特化すべき事ではないかと思っています。10年先という話が出ましたが、10年、20年たったら、地上だけでなく、空も道になってるかもしれないといったような、せっかく先のことを考えるのであれば、少し踏み込んで考えてみたら面白いのではないかと思います。

○真野委員

浮世離れというか、今は「そんな意見」と思うような切り口も、一個ぐらい入れてもいいのではないかということですね。

○高嵯委員

僕らは、仕事柄どうしても道路幅は何mと、ついそればかりを見てしまうが、その前提条件が全て変化するというか、20年ぐらいだったら本当にそうなっているかもしれないと思ったところです。

○真野委員

商店街としてはいかがでしょうか。

○小畑委員

現状、南富山周辺で商売をしていて流行っているところはクレープ屋。夜遅くなるとラーメン屋。最近入った金券ショップ、ずっと前からあるCD屋。少し特殊なお店は来ます。私も今や、脱ハンコのハンコ屋ですが、こういう特殊な店であるからお客さんがまだ来ます。

若い人でも自転車で行けるような、大きなスーパーと同じようなものを売っていても、お客さんは来ません。大型店には絶対勝てません。ただ、年寄りが危ないです。私は大町一区ですが、道路渡るのに年寄りが地下道を通っていくことはまずありません。要するに、アーケードも商店街の建物もすごく古いため、今さらあそこで建替えることも考えられません。雪が多いとアーケードの屋根が潰れるのではないかと心配で皆さんが大慌てで雪下ろしをします。全く違う考え方で、学生街として学生に好まれるようなお店が入れるような、大きなビルを建てるとかあるかと思います。

○真野委員

アーケード自体の管理が大変で、商店街でもアーケードを取ろうというところもありますが、雪

が降ってる地域はありがたいのではないのでしょうか。長期的に見ると、アーケードの維持はできるのでしょうか。

○小畑委員

できないと思っています。相当古くて、いつ倒れるか分からないような危ない物はアーケードだけではありません。建て替えることもできない状況です。もうあそこにこだわらなくてもよいかもしれません。昔からある持ち家のお店が終われば、もうあそこには誰もいなくなってしまう状況です。ですから、地鉄がここでビルを建てるとかはあるかもしれません。

○真野委員

地鉄としての短期的な視点や公的な視点としてはいかがでしょうか。

○吉川委員

おっしゃるようないろいろなご意見があって欲しいと思っています。

少し話を戻しまして、ビジョンの作り方は、皆さんのご意見を聞いたところが非常によく反映されていて、これからいよいよスタートをしていくんだよという部分では、広く散りばめられており、よいと思いました。あまり欲張るとどっちに向くのか分からなくなるということもあるかもしれませんが、スタートラインとしては、何度かお話しさせていただいたキーワードに沿ってスタートしていく、ビジョンの最初の作り込みをしていこうというような内容になっていると思います。

まちづくりという話は、行政の方を中心に一生懸命やっていたが、誰がいつ、どこかのおじさんたちが決めたのかなといったようなものがほとんどだと思います。この南富山周辺のキーワードとしては、文教地区で学校があるということであり、生徒さんのお話を聞かせていただいたり、活動にご協力いただいているところもあり、このビジョンの中に、定期的に学生の意見を取り入れて行けるような仕組みを作ってはどうかと思いました。

地鉄の駅周辺では、中学校や高校がない駅がほとんどです。私も駅づくりや駅前の広場をどうしていこうといった話を会議でさせていただきますが、学校がない駅がほとんどで、学生の意見は取り入れにくかった部分があります。南富山駅で進めていく中では他と大きく違うことであり、モデルケースになればよいと思いました。

○事務局

多くのご意見をいただき、ありがとうございます。ここで南富山まちづくりを考える会 松山会長よりお手元の配布資料に基づきまして、これまでの活動報告についてご説明いただきたいと思います。

○松山委員

※活動報告

○事務局

それでは以上をもちまして、第2回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会を終了いたします。

本日のご意見を参考に、年度末のビジョン策定に向けて引き続き取り組んでまいります。本日は
どうもありがとうございました。